

令和 2 年 5 月 28 日現在

機関番号：34310

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K02092

研究課題名(和文)クリエイティブツーリズムの定着と創造都市連携の相互連環的發展に関する研究

研究課題名(英文)A study on the establishment of creative tourism and mutual development of creative city cooperation

研究代表者

佐々木 雅幸 (Sasaki, Masayuki)

同志社大学・研究開発推進機構・嘱託研究員

研究者番号：50154000

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：クリエイティブツーリズムとは「他に代えがたい体験や創造的な協働により観光客と地域住民とが新たな価値を創造し共有することにより、地域の持続的發展をもたらす新たなツーリズム」であり、マスツーリズムと対極にあり、文化消費型のカルチャーツーリズムを超えるものであり、サステナブルツーリズムが主に自然環境を重視したものであるのに対して創造都市の芸術文化の創造性を重視している。ユネスコはSDGsの実現に向けて、文化多様性を高めるべく創造都市の世界的連携を強化しようとしており、クリエイティブツーリズムと創造都市との相互連環的發展が課題になっており、本研究はそのための条件を析出し、政策提言にまとめている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

クリエイティブツーリズムとは「他に代えがたい体験や創造的な協働により観光客と地域住民とが新たな価値を創造し共有することにより、地域の持続的發展をもたらす新たなツーリズム」であり、マスツーリズムと対極にあり、文化消費型のカルチャーツーリズムを超えるものであり、サステナブルツーリズムが主に自然環境を重視したものであるのに対して創造都市の芸術文化の創造性を重視している。この研究は、ポストコロナ時代の新たなツーリズムと都市の在り方に大きな問題提起を行っている。

研究成果の概要(英文)：Creative tourism is "new tourism that brings about sustainable development of the region by creating and sharing new value between tourists and local residents through irreplaceable experiences and creative collaboration". It is the opposite of mass tourism and exceeds cultural consumption-type culture tourism. While sustainable tourism mainly focuses on the natural environment, it emphasizes the creativity of the artistic culture of the creative city. To realize the SDGs, UNESCO is trying to strengthen the global collaboration of creative cities to enhance cultural diversity, and the challenge is the mutual development of creative tourism and creative cities. In this research, the conditions for that have been identified and summarized in policy

研究分野：創造都市論、クリエイティブツーリズム研究

キーワード：クリエイティブツーリズム 創造都市連携 文化多様性

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

21世紀が始まってほぼ20年が経過したが、先進経済国においても途上国においても大量生産大量消費を基調とする工業経済から創造経済への移行が着実に進展していることを、国連貿易開発会議 UNCTAD は2008,2010,2013年に刊行してきた *Creative Economy Reports* において指摘してきた。

研究代表者の佐々木はこの「工業経済から創造経済への移行」を「大量生産システムと大量消費システム」から「フレキシブル生産システムと個性的文化的消費システム」を特徴とするシステム転換として把握し、都市の形は「産業都市から創造都市」に代わり、「マスツーリズムからクリエイティブツーリズム」に代わると指摘してきた。

一方、グローバル化と知識情報経済社会への本格的な移行に伴って、欧米ではすでに、製造業を中心とした都市が衰退する一方で、映像・音楽・芸術などをコンテンツとする「創造的文化産業」がクラスターを形成して、ハイテク技術者やアーティスト・クリエイターなどの「創造階級」が好んで暮らす「創造都市」の発展に大きな注目が集まっている。ユネスコは2004年以来、グローバル化に伴う文化画一化に抗して、文化多様性を高めるために固有の文化産業の発展による「創造都市ネットワーク」を提唱し、この波は、日本や経済発展の著しい東アジアの都市・地域にも到達して、国内では金沢、札幌、浜松、名古屋、神戸、篠山、山形、鶴岡が、東アジアでは北京、上海、ソウル、釜山等がユネスコ創造都市ネットワークに加盟し、創造的文化産業の振興によって創造都市の実現を目指しており、「創造都市の共生的連携と相互発展」のための政策の具体化が新たな課題となり、クリエイティブツーリズムと創造都市との相互連関的發展が課題となってきた。(佐々木雅幸、『創造都市への挑戦』岩波現代文庫、2012)

### 2. 研究の目的

クリエイティブツーリズムとは、芸術文化活動を通じて、その土地の人々と触れ合い、文化遺産やその土地の特性を学び、文化創造と本物の価値を重視する「創造体験」を重視する新しいタイプの観光である。ユネスコは世界文化遺産の登録保存を推進するのみならず、文化多様性と文化産業による創造都市のグローバルネットワークを推進しており、特にクリエイティブツーリズムによる創造都市の発展と連携強化を提唱し、多様なプロジェクトを支援している。本研究はユネスコ創造都市であるポローニャ・モントリオール・サンタフェと日本の金沢市・神戸市・浜松市等の協力を得て、クリエイティブツーリズムを通じた創造的な都市連携と、その反対に、都市連携の深化によるクリエイティブツーリズムの「相互連環的發展」について実証的理論的に検討を行った。

### 3. 研究の方法

本研究においては、従来のマスツーリズムと異なるクリエイティブツーリズムの特質を踏まえて、都市における1) 芸術文化コンテンツの創造者(アーティスト、クリエイター)やアートNPOによる創造刺激型交流、2) 創造性が発揮されやすい流通機構や市場の形成に向けた創造的政策交流、3) さらには伝統文化や伝統芸能を世界市場で競争力ある創造的文化産業に転化する上での革新的な技法や創造的技能交流の3つのレベルを推進する組織のあり方を検討し、同時に、4) 上記の交流とマスツーリズムの弊害を避けるための都市計画との整合性及び都市周辺の農村を巻き込んだ創造的都市農村連携、また、5) 創造都市が成長を志向して互いに過当競争する事態を避け、相互に共生的互恵的に発展するための連携やネットワークを進める上で不可欠な市民相互の経験交流に分析の焦点を置き、以上を推進する主体の在り方、予算・政策面の工夫などについても最適なモデルを検討するため、現地調査を行うとともに、クリエイティブツーリズムの社会実験も行った。

#### 4. 研究成果

研究成果としては、各創造都市における若手の創造者(アーティスト、クリエイター)を相互に交流させて、革新的な技法や創造的技能交流を行うことが創造刺激型交流として効果的であることが示された、特に、金沢市が毎年行ってみた若手工芸作家の海外派遣が評価される。2)創造性が発揮されやすい流通機構や市場の形成に向けた創造的政策交流としてはボローニャ市が行っている創造的文化産業振興交流策、3)さらには伝統文化や伝統芸能を世界市場で競争力ある創造的文化産業に転化する上での革新的な技法や創造的技能交流の3つのレベルを推進する組織のあり方としてモンリオールが展開している「文化の日プロジェクト」が成果を上げており、4)マスツーリズムの弊害を避けるための都市計画との整合性及び都市周辺の農村を巻き込んだ創造的都市農村連携の点ではボローニャの広域地域計画が良いモデルになり、5)創造都市が成長を志向して互いに過当競争する事態を避け、相互に共生的互恵的に発展するためのクリエイティブツーリズムネットワークを進める上でサンタフェがリーダー役を果たしている。などベストプラクティスが生まれており、政策パッケージとすることが創造都市とクリエイティブツーリズムとの「相互連環的發展」に効果があることが示された。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

|                                        |                         |
|----------------------------------------|-------------------------|
| 1. 著者名<br>佐々木雅幸                        | 4. 巻<br>29-4            |
| 2. 論文標題<br>進化する創造都市                    | 5. 発行年<br>2017年         |
| 3. 雑誌名<br>松山大学論叢                       | 6. 最初と最後の頁<br>131 - 146 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-               |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>佐々木雅幸                        | 4. 巻<br>623           |
| 2. 論文標題<br>産業戦略としての創造都市・京都             | 5. 発行年<br>2018年       |
| 3. 雑誌名<br>地域開発                         | 6. 最初と最後の頁<br>74 - 78 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>佐々木雅幸                        | 4. 巻<br>69-4        |
| 2. 論文標題<br>創造都市ネットワークの展開と可能性           | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>同志社大学経済学論叢                   | 6. 最初と最後の頁<br>31-68 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名<br>佐々木雅幸                       | 4. 巻<br>13巻2号       |
| 2. 論文標題<br>文化庁の京都移転とこれからの文化行政         | 5. 発行年<br>2016年     |
| 3. 雑誌名<br>文化経済学                       | 6. 最初と最後の頁<br>40、43 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-           |

|                                        |                       |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>佐々木雅幸                        | 4. 巻<br>別冊特集          |
| 2. 論文標題<br>ジェイコブズと創造都市論                | 5. 発行年<br>2016年       |
| 3. 雑誌名<br>環                            | 6. 最初と最後の頁<br>272、280 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

〔学会発表〕 計7件 (うち招待講演 5件 / うち国際学会 2件)

|                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>Masayuki Sasaki                                      |
| 2. 発表標題<br>Crafts and Creative City Kanazawa                    |
| 3. 学会等名<br>International Forum of Crafts Design in Seoul (招待講演) |
| 4. 発表年<br>2018年                                                 |

|                              |
|------------------------------|
| 1. 発表者名<br>佐々木雅幸             |
| 2. 発表標題<br>創造都市とクリエイティブツーリズム |
| 3. 学会等名<br>日本観光研究学会 (招待講演)   |
| 4. 発表年<br>2017年              |

|                                                |
|------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>SASAKI Masayuki                     |
| 2. 発表標題<br>Creative Cities of the 21st Century |
| 3. 学会等名<br>Asian Culture Forum 2016 (招待講演)     |
| 4. 発表年<br>2016年                                |

|                                                                |
|----------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>SASAKI Masayuki                                     |
| 2. 発表標題<br>Traditional Cultural Heritage and Creative Industry |
| 3. 学会等名<br>ASEM文化大臣会合（招待講演）                                    |
| 4. 発表年<br>2016年                                                |

|                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>SASAKI Masayuki                                           |
| 2. 発表標題<br>The Resilient Creative City in Japan                      |
| 3. 学会等名<br>International Conference on Cultural Policy Pesarch（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2016年                                                      |

|                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>SASAKI Masayuki                                                                                                                  |
| 2. 発表標題<br>Creative City Kanazawa and Biocultural Diversity                                                                                 |
| 3. 学会等名<br>The international meeting of creative city network; Valuing and Evaluating Creativity for Sustainable Regional Development（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2016年                                                                                                                             |

|                                           |
|-------------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>佐々木雅幸                          |
| 2. 発表標題<br>創造都市とクリエイティブツーリズム              |
| 3. 学会等名<br>愛媛大学観光サービス産業を担う次世代人材育成事業（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2016年                           |

## 〔図書〕 計2件

|                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>佐々木雅幸、敷田麻実 | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>水曜社        | 5. 総ページ数<br>300 |
| 3. 書名<br>創造社会の都市と農村  |                 |

|                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>佐々木雅幸、阿部昌樹、水口俊雄、岡野浩 | 4. 発行年<br>2017年 |
| 2. 出版社<br>水曜社                 | 5. 総ページ数<br>247 |
| 3. 書名<br>包摂都市のレジリエンス          |                 |

## 〔産業財産権〕

## 〔その他〕

|                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>創造都市への挑戦<br/> <a href="http://www.creativecity.jp/">http://www.creativecity.jp/</a><br/>         創造都市への挑戦<br/> <a href="http://creativecity.jp/">http://creativecity.jp/</a></p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 6. 研究組織

|               | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                      | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                         | 備考 |
|---------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----|
| 研究<br>分担<br>者 | 敷田 麻実<br><br>(shikida asami)<br><br>(40308581) | 北陸先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・教授<br><br><br>(13302) |    |